

V I A J E

diciembre 13, 2018
土井先生の活動日記
Honduras Vol.27

最後の任国外旅行でドミニカ共和国へ

こんにちは。ホンジュラス・ Cholteca の土井です。青年海外協力隊員は所属先と JICA の許可が得られれば、周辺国への旅行が認められます。ホンジュラス隊員はコスタリカ、



女子バレーボールドミニカ共和国代表選手の皆さんと



サントドミンゴの経済格差 立派な橋の下にはバラックのような住宅が広がる



日本で走ってた中古車 ステッカーがそのまま

パナマ、ドミニカ共和国、メキシコの 4 ケ国への渡航ができ、事前に申請して承認を得ます。その制度と休暇を利用し、7 日間かけてドミニカ共和国とパナマ共和国を訪問してきました。今回はドミニカ共和国の模様を、次号でパナマの模様をお伝えします。

ホンジュラスのテグシガルパからパナマ経由でドミニカ共和国のサントドミンゴまでは 4 時間のフライトです。ドミニカ共和国の経済レベルは中南米ではざっくり言って中程度。ホンジュラスよりは上ですが、格差が激しいのは同じです。ドミニカ共和国の名はプロ野球選手出身の国としてはメジャーで、現日本ハムファイターズではブライアン・ロドリゲス選手がドミニカ共和国出身です。バレーボール女子の国際試合では毎回のように名前の上がる国です。ちなみに日本バレーボール協会の世界ランキングによると日本は 6 位、ドミニカ共和国は 9 位。

感じたことは中南米の他の国と違ってサッカーがそれほど熱心ではなく、野球の人気の高い。あとは、多くの日本製中古車が右ハンドルから左ハンドルに改造されただけで第 2 の人生を歩んでいること。また、隣国ハイチがフランス語圏ってこともあり、スペイン語系の名前だけでなく、フランス語系の名前も散見されました。サントドミンゴにはバリオ・チノ（中華街）もあり、アジア人も一定数いる他、リゾート地ではアメリカ人やヨーロッパからの客も多く、観光業もこの国の経済発展に大

きく寄与しています。4 日間で街をウロウロし、スクーバダイビングを体験し、野球の試合とバレーボールの練習を見ることができて、とても充実した滞在でした。一番苦労したのが、酔っ払ってるのおっちゃんとのお話でしたけど（苦笑）